

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 15 日

事務事業名		小中学校適正配置計画推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020103000930
						単独/補助	単独		090101
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	学校教育課
総合計画の施策名		O201 学校教育の充実						課長名	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	企画・営繕グループ
施策名		O1 学校教育の充実						担当者名	
手段名		O3 ③教育環境の整備							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成27年度~)
	01	10	01	11	02	00	小中学校適正配置推進事業		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠	桜川市立小中学校適正配置計画策定委員会設置要綱								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市では少子化が進み、市内小中学校の児童生徒数が著しく減少する中、現在、1学年に複数学級を編成できない学校が存在するとともに、今後編成できなくなる学校が増加することが予測されている。教育委員会では、児童生徒の教育環境を整備するため、令和元年5月に、1学年2学級以上を目指した「第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画」を策定し、地域や保護者に説明会を行ってきた。今年度は、その計画を基に、令和3年4月の猿田小学校と羽黒小学校の統合に向けて、統合準備委員会を設置し、統合にかかる協議を行ってきたところである。</p>	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画 (案) の策定 パブリックコメントの実施 第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画の決定 第2次基本計画の地区説明会実施 <p>【猿田小学校と羽黒小学校の統合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域・保護者の説明会の実施 総合教育会議の実施 統合準備委員会の設置及び協議

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 地域からの相談対応 説明会・懇談会の開催 統合準備委員会の開催回数 	適正配置に関する相談対応数 (のべ)	件	5.00	8.00	5.00	5.00	5.00
	説明会・懇談会の開催回数	回	15.00	3.00	0.00	5.00	5.00
	統合準備委員会の開催回数	人	0.00	17.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市内の小中学校への就学を希望する児童生徒 市内の小中学校 	市内の児童生徒数	人	2,953.00	2,797.00	2,700.00	2,700.00	2,700.00
	市内の小中学校数	校	13.00	13.00	12.00	12.00	12.00
	市内の義務教育学校数	校	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が適正規模で学習指導が受けられる 児童生徒にクラス替えの機会が確保される 小中学校1校当たりの適正な規模が維持される 	適正規模を維持できていない学校数	校	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
投入量	事業費	国庫支出金 千円	0	0	0
		県支出金 千円	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0
		その他 千円	0	0	0
		一般財源 千円	1,959	0	33
	事業費計 (A) 千円	1,959	0	33	
	正規職員従事人数 人	3.00人	3.00人	3.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
				10 需用費	33	
		合計	0		合計	33

事務事業名	小中学校適正配置計画推進事業	事務事業No.	20103000930	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 少子化による小中学校の児童生徒数の減少から、平成20年度に「適正規模等検討委員会」、平成24年に「適正配置計画策定委員会」を設置し、その2つの答申を受け平成26年6月に「桜川市立小中学校適正配置基本計画」が策定された。教育を取り巻く環境が変化したことから、令和元年5月に第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画を策定し、これを基に適正配置を推進している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 桃山中学校区において、保護者から桃山中学校敷地内での真壁小学校、紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせ小中一貫教育校設立の要望・請願が行われ、平成30年に桃山学園が完成した。猿田小学校区では、羽黒小学校との統合にかかる要望書や嘆願書が提出され、令和3年4月に統合した。他の地域でも、少子化を懸念し他校との統合に関する相談が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公立小中学校は桜川市が運営・管理しており、その適正配置については政策体系に深く結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立小中学校の維持管理は市の予算で行っており、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 学校は地域の象徴であるため、住民感情に配慮しながら、第2次基本計画を基に、適正配置を進めていくことになる。一方、コロナウイルス感染症対策として、学級編成の基準が変更となることから、教育を取り巻く環境を注視する必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 基本計画で示した適正規模が達成されず、市が適正と考える児童生徒の教育環境が維持できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業等はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の事業費で実施している。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内すべての公立小中学校について計画の基準に合わせて適正配置を進めるものであり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 令和3年4月の猿田小学校と羽黒小学校の統合に向けて、羽黒小学校・猿田小学校統合準備委員会を設置し、4つの分科会を組織し、統合にかかる協議を行ってきた。当初は、コロナウイルスの影響で、協議を進めることが難しかったが、短い期間の中で、地域や保護者、教職員、市議会議員と協力しながら、進めることができた。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 コロナウイルスの影響で、教育を取り巻く環境が変化しているため、今後とも地域や保護者など、関係者の意見を聞きながら、小中学校の適正配置を進めていく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認	